資料12

令和7年2月21日

いつでも・だれでも・どこでも

全県的な読書バリアフリーの推進により、居住地域や障がいの有無に関わらず、すべての県民が文字・活字文化の恩恵を享受できる。

（＝どこでも・誰でも・読書バリアフリーサービスを受けられる）

つくる・ふやす・あつめる［コンテンツ］

アクセシブルな書籍等の量的拡充・質の向上

- アクセシブルな書籍等の製作人材の養成
  - 製作人材の養成・研修・確保
  - 製作人材の活動支援とネットワーク化
- アクセシブルな書籍等の製作と製作支援
  - 障がいに合わせたニーズの把握
  - 製作手順やノウハウの共有
  - アクセシブルな書籍等の製作
- アクセシブルな書籍等の収集
  - 書籍等の出版情報の収集・共有
  - 出版社と連携した郷土資料の収集

とどける・つなげる・ひろめる［サービス］

アクセシブルな書籍等の普及と継続的な提供

- 県立図書館の体制整備・サービスの充実
  - 県立図書館職員の養成・研修
  - アクセシブルな書籍、読書支援機器の提供
- アクセシブルな書籍等の利用の支援
  - 書籍等利用のための操作スキル習得支援
  - 端末機器等の情報提供
- 非来館型サービスの充実
  - 視覚障がい者等の利用できる電子書籍等のサービス（国立国会図書館・サピエ等）の普及
- 市町村立図書館等のサービスの充実
  - 市町村立図書館における取組の支援
- 学校の読書バリアフリーサービスの充実
  - 児童生徒、教職員への周知・啓発、学校図書館等との連携
  - 各市町村教育委員会への周知・啓発

それぞれに合った［支援］

視覚障がい者等の障がいの種類・程度に応じた配慮

- 意見やニーズの把握
  - 関係機関との連携の促進
  - 各種福祉サービス等の情報提供
- ニーズに合わせたサービスの提供
  - ■視覚障がい：　■肢体不自由：
  - ■盲ろう：　■重症心身障がい：
  - ■聴覚障がい：　■知的障がい：
  - ■学習障がい：マルチメディアデイジーの普及等
  - ■高齢者：大活字図書、音声デイジー及びサピエの普及等